

# 緑のセンターだより

No.139

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel:0166-65-5553 Fax:0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成24年12月1日

## 講習会のご案内 （お申込み・受付は前月の20日から）

### 「クリスマスからお正月の寄せ植え」

とき 平成24年12月2日（日）**物**2,000円

午後1:30~3:30 定員20名

講師 フlowerマスター 山本裕美さん



### \*年末・年始のお知らせ\*



12月30日(日)~1月4日(金)まで、緑のセンターは  
休館させていただきます

新年は1月5日  
からです！



## 来年の講習会予定

### 「果樹の剪定と栽培」-リンゴ、サクラホトなどの落葉果樹-

とき 平成25年 2月17日（日）

午後1:30~3:30 定員50名

講師 ふじくらますも果樹園

代表 増茂 聡さん



### 「洋ラン！春から夏の育て方」

とき 平成25年2月24日（日）

午後1:30~3:30 定員50名

講師 旭川蘭友会 顧問 笠原幸三さん



## 展示会のご案内 （初日は午後から、最終日は4時まで）

### 【休館日のご案内】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日です（祝日の場合は翌日）  
11月~3月は毎週月曜日が休館日です（ " " ）

### 神楽岡公園の自然写真展

12月1日~1月31日

出展：井原久夫さん



# 〈園芸の基礎知識〉 家庭園芸の培養土 (1)

～ 市販の培養土 ～



盆栽（赤玉土）やサツキ（鹿沼土）、コチョウラン（水苔）など「基本用土」だけで育てるものを除き、一般的には「基本用土」と「補助用土」、「肥料」などを混合して、通気性や排水性、保水性などを改良し、植える植物に合わせ、そのまま使用できるようにした土を「培養土」と呼びます。

## 【市販の培養土】

市販されている培養土は、多くのメーカーから植物や用途ごとに沢山の種類が販売されています。

これらの培養土から最適なものを選ぶには、

- ①製造会社（又は販売会社）名がきちんと明記されていること
- ②使用原料や水素イオン濃度（pH）などの必要事項が記載されていること
- ③肥料が混合されている場合は、含まれる肥料成分の量などが明示されていることなどを確認し、表-1を参考に選んでください。

市販の培養土は混合することもなく、必要な分だけ手軽に購入できて便利ですが、品質に幅がありますので気をつける必要があります。

（参考資料：NHK 出版「別冊趣味の園芸 よくわかる土・肥料・鉢」、住友化学園芸KK「園芸の基礎知識」）

表-1 市販の培養土のチェックポイント

通気性	水はけ良く根に新鮮な空気供給
排水性	余分な水分を排出し根腐れ防止
保水性	必要な湿気を確保
保肥性	肥料を蓄え根に供給
肥沃性	堆肥、腐葉土の含有の有無
酸度(pH)	植物にあった酸度(pH)
粒 径	鉢容量にあう揃った粒径
重量感	植物や用途にあった重量
清潔感	藻やカビなどが発生していない

## 緑の相談 QアンドA (13)

エラチオール・ベゴニアを購入しましたが、育て方が難しいと聞きました。育て方のポイントがあれば教えてください。

リーガース・ベゴニアとも呼ばれるシュウカイドウ科の花が豪華で花色も豊富な多年草の園芸品種で、5～10日位の短日で花芽が作られる冬咲き性のベゴニアです。暑さ寒さに弱く水やりも難しいといわれていますが、育て方のポイントを参考に育ててみてください。

### ◎育て方のポイント◎

【置き場所】 日光を好む。夏は屋外の明るい日陰、秋～春は室内の日当たりの良い窓辺、夜は厚手カーテン等で保温。

【温度・湿度】 生育温度 15～25℃。室内取込み目安夜温 20℃。空中湿度 10～60%、室内乾燥時は霧吹きで確保。

【水やり】 乾燥に強く過湿嫌い。茎葉にかからないように、用土の表面が乾いたら鉢底から流れ出るくらいたっぷり、受け皿には溜めない。

【用土】 軽めで水はけの良い用土、市販の草花培養土など。

【肥料】 開花中肥料切れは厳禁、1,000～1,500倍液肥を10日1回程度。夏場は肥料なし。植替時は用土に緩効性肥料を適量混合。

【切戻し・植替え】 3月頃、地際3～4節脇芽残し春の切戻し、6月頃地際1～2節脇芽残し初夏の切戻し。初夏の切戻し後、根鉢表面をほぐし1回り大きい鉢に植替え。切戻し枝を挿し芽で増殖可。

【その他】 10時間以下の日照が長く続くと休眠するので要注意。うどんこ病やハダニなどにも注意。花がら摘みはこまめに。



（参考資料：NHK 出版「趣味の園芸」）

※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらでもご利用ください。

# 香りのかんきつ類 ユズ、スダチ、カボス

これらは、冬の料理に欠かせない存在の香りのかんきつ類です。果汁にクエン酸などの酸味成分とともに、リモネンなどの香り成分が含まれることから「香酸かんきつ類」と呼ばれています。

いずれも絞ってポン酢として利用するところは同じですが、風味などが個性的で、南国の地域特産物として有名なものもあります。

それぞれの特徴を見てみましょう。

## ・ ユズ

中国原産でかんきつ類の中では耐寒性がありますが、北海道ではやはり無理です。本州（東北以外）では広く植えられています。

加熱しても失われないほどの強い果皮の香気があり、これはペリアルデヒドやチモールなどの成分によるものです。

ハナユ（花柚）、一歳ユズと呼ばれている種類がありますが、ユズとは別種のもので、果汁は同様に利用できますが、果皮の香りはユズに及びません。しかし、結実が良く、木がわい性で育てやすいことから広く出回っています。



## ・ スダチ

原産地は徳島で、特産品として知られています。香り、酸味ともに強く、果汁も豊富で風味があり、大きさも手ごろです。いくつかの系統がありますが、一般的に出回っているのはとげが短く、数も少ない系統のもので、

## ・ カボス

来歴ははっきりしませんが、大分県の特産になっています。果実はスダチより大きく、多汁で酸味が強く独特の風味があります。樹勢が強く、木は比較的大きくなりますが、とげがないので扱いやすいです。

昨今はハウス栽培や貯蔵法の発達で長期間市場に出回っていますが、本来の収穫期間は9月～10月ごろです。

このほかに、種苗店ではレモンやライムなどの鉢ものも販売されていますが、いずれも旭川の冬の屋外では生育しません。

自分で育てた採りたての香りを楽しむために、このかんきつ類を観葉植物として室内で育ててみてはいかがでしょうか。

# ゲンペイカズラの育て方

ゲンペイカズラは、熱帯アフリカ原産 クマツヅラ科 クサギ属の常緑つる性小低木です。

赤色の花と白色の萼が対照的で美しい花を咲かせます。源平という言葉は、源氏が白旗、平氏が赤旗を掲げて戦ったことに由来します。初夏から秋まで長期間開花する常緑のつる性植物で、一般的にはアサガオなどに利用するあんどん支柱を用いてつるを絡ませるように仕立てます。寒さで落葉することが多いですが、春になって気温が上がると新芽を吹いてきます。

## 置き場所

日当たりのよい場所を好みますが、夏の強い日差しを嫌うので、午前中の日光が当たるような半日陰で育てます。冬は寒さに弱いので室内の最低温度5℃以上の日当たりのよい窓辺などに置きます。

## 植え替え・用土

植え替えの適期は気温が十分に上がる5～6月。鉢底から根が出て、根詰まりしたり、2年以上植えかえていない鉢植えは、一回り大きな鉢に植え替えます。

用土は花の培養土に火山礫（小粒）を2割混ぜ水はけを良くしたもの、赤玉土（小粒）7、腐葉土3などを使用します。

## 水やり・肥料

春から秋の生育期は土の表面が乾いたらたっぷり水を与えます。冬は土の表面が乾き2、3日たってから水を与えます。受け皿にたまった水は必ず捨てます。

肥料は春から秋、ゆっくり効く固形の肥料を2月に1回程度を途切れずに与えます。

## 剪定

花が咲き終わった秋に伸びすぎた枝を剪定します。



## 展示室の植物（46）



アザレア

ツツジ科 ツツジ属

日本や中国原産のツツジをヨーロッパで品種改良した温室促成鉢植え用の園芸品種群です。サツキに似た草姿で草丈が低く、わい性化され、たくさんの花を咲かせます。花は大輪で、八重、半八重、一重など様々な花形を楽しめます。花色も紅、紫、紅紫、桃、白のほか、絞り、覆輪など多彩で、ツツジの仲間では最も華麗な花を咲かせます。

生育温度は15～20℃で、低温に強く2～3℃にも耐えられます。植え土のpH（酸性度）は、やや酸性を好み、根は浅根性で細根多く乾燥に弱いので注意します。